

2018年度第1四半期 決算ハイライト

2018年8月2日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

<本資料における計数の定義>

連結	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
2行合算	: 三菱UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
親会社株主四半期純利益	: 親会社株主に帰属する四半期純利益
ROE(MUFG定義)	: $\frac{\text{親会社株主四半期純利益} \times 4}{\{(\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定})\}} \div 2 \times 100$
与信関係費用総額	: 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

損益サマリー

【連結】

業務粗利益

- 海外預貸金収益や国内外手数料収益が増加するも、円債売買益減少を主因に国債等債券関係損益が減少
- 業務粗利益は613億円減少

営業費・経費率

- 営業費は微増
- 業務粗利益の減少を主因に経費率は69.6%へ上昇

親会社株主四半期純利益

- 業務純益は627億円減少
- 与信関係費用の改善、政策保有株式売却等による株式等関係損益の増加により、親会社株主四半期純利益は259億円増加

〈連結P/L〉 (単位:億円)

	17年1Q	18年1Q	増減
1 業務粗利益(信託勘定償却前)	10,043	9,429	▲ 613
2 資金利益	4,625	4,805	179
3 信託報酬+役員取引等利益	3,276	3,433	157
4 特定取引利益+その他業務利益	2,141	1,190	▲ 951
5 うち国債等債券関係損益	912	225	▲ 686
6 営業費(▲)	6,552	6,565	13
7 業務純益	3,490	2,863	▲ 627
8 与信関係費用総額	▲ 200	245	446
9 株式等関係損益	242	623	381
10 株式等売却損益	276	641	364
11 株式等償却	▲ 33	▲ 17	16
12 持分法による投資損益	680	844	164
13 その他の臨時損益	▲ 238	▲ 380	▲ 141
14 経常利益	3,974	4,198	223
15 特別損益	▲ 209	▲ 140	69
16 法人税等合計	▲ 623	▲ 653	▲ 29
17 親会社株主四半期純利益	2,890	3,150	259
18 1株当たり利益(円)	21.59	23.99	2.40

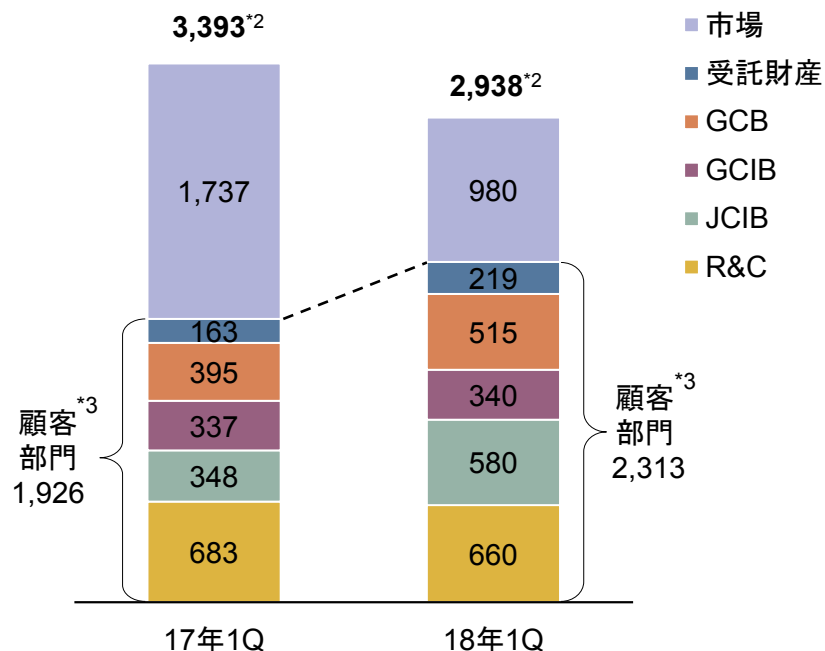
(ご参考)

	20年度目標	17年1Q	18年1Q	増減
19 ROE(MUFG定義)	7%~8%程度	9.00%	9.46%	0.46%
20 経費率	17年度実績 ^{*1} を下回る	65.2%	69.6%	4.3%

*1 17年度(通期)実績: 68.0%

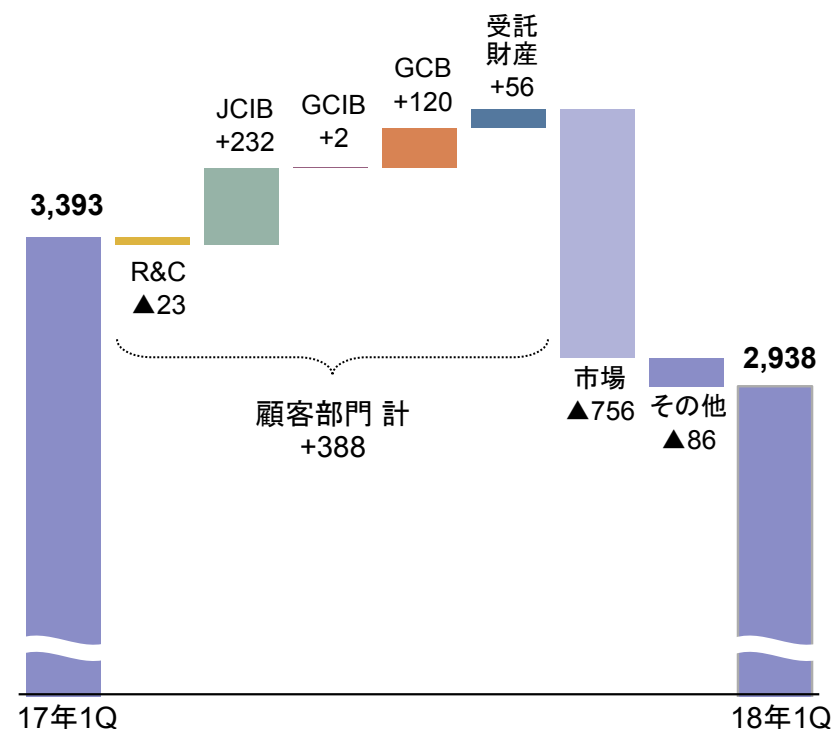
事業本部別営業純益*1

(億円)



営業純益増減内訳

(億円)



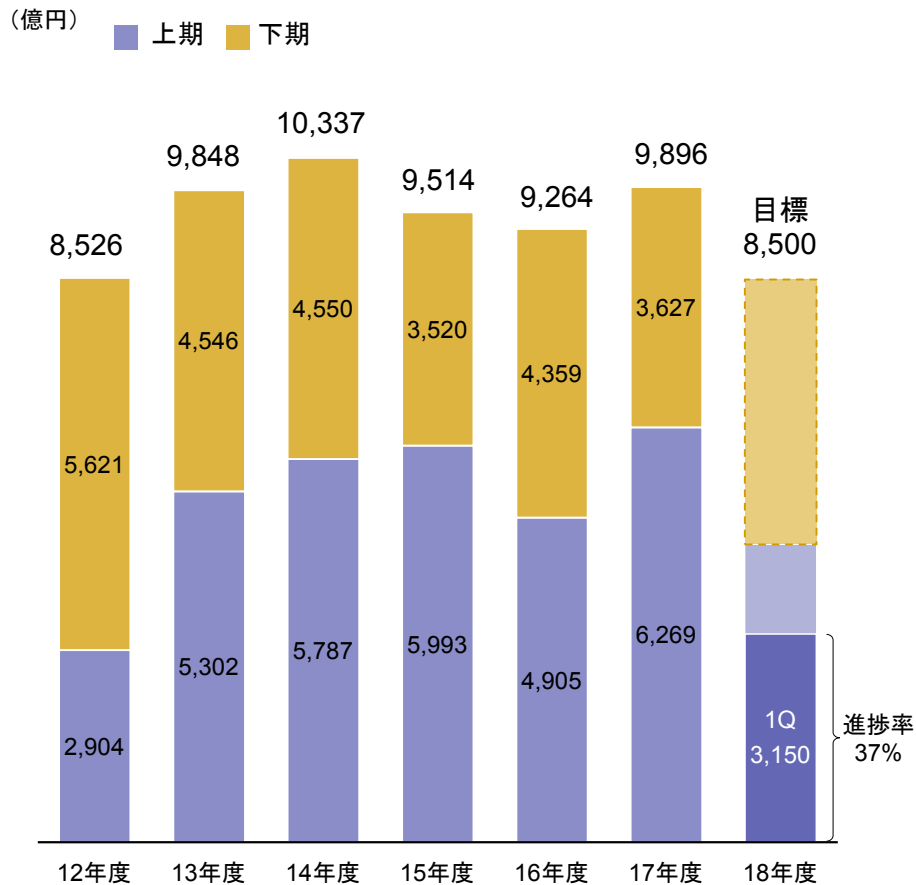
*1 管理ベースの連結業務純益 *2 本部・その他(17年1Q ▲270、18年1Q ▲356)を含む

*3 営業純益合計(*2)に顧客部門営業純益の占める割合は17年1Qで57%、18年1Qで79%

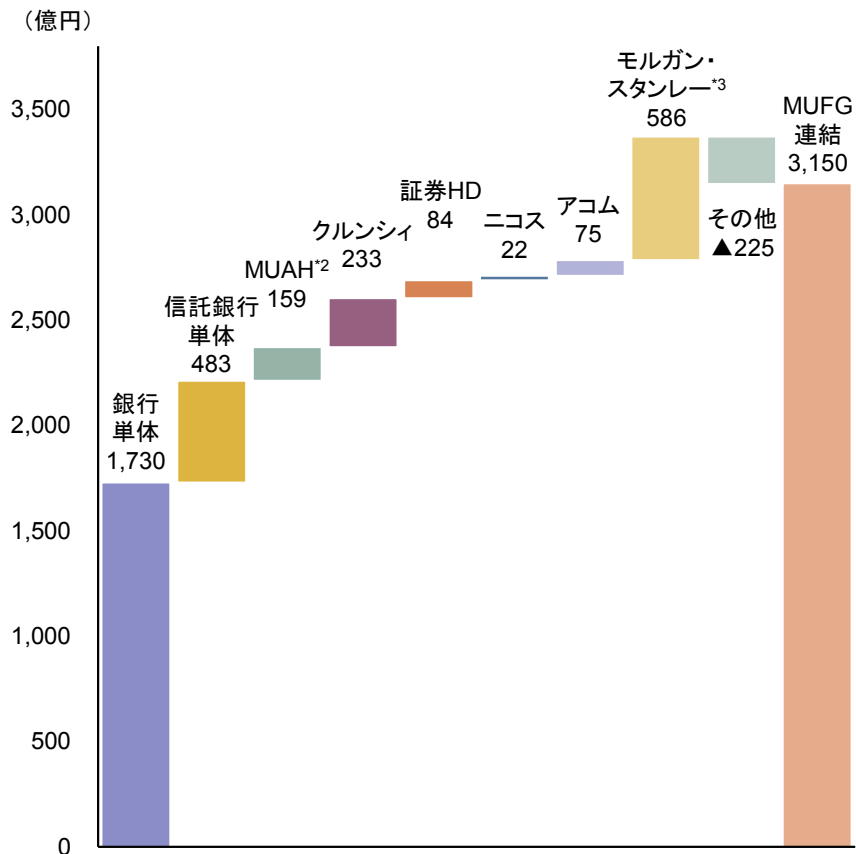
親会社株主純利益の概要

【連結】

親会社株主純利益の推移



親会社株主四半期純利益内訳*1



*1 持分比率勘案後の実績

*2 MUFG Americas Holdings Corporation

*3 持分変動損失▲152億円を含む

貸出金(銀行勘定+信託勘定)

- 海外貸出が増加

有価証券

- 国債、外国債券の減少を主因に減少

預金

- 法人預金および海外預金が減少

開示債権

- 開示債権残高の減少により、開示債権比率は低下

その他有価証券評価損益

- 外国株式および外国債券の評価損益が減少

〈連結B/S〉 (単位:億円)

	18年6月末	18年3月末比
1 資産の部合計	2,991,074	▲78,299
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	1,086,751	2,774
3 貸出金(銀行勘定)	1,083,139	2,229
4 うち住宅ローン ^{*1}	153,329	▲1,210
5 うち国内法人貸出 ^{*1*2}	444,614	34
6 うち海外貸出 ^{*3}	432,377	2,884
7 有価証券(銀行勘定)	558,747	▲33,914
8 うち国内株式	64,568	783
9 うち国債	211,601	▲23,912
10 うち外国債券	168,815	▲16,877
11 負債の部合計	2,820,518	▲75,905
12 預金	1,756,832	▲16,290
13 うち個人預金(国内店)	762,898	9,872
14 純資産の部合計	170,556	▲2,393
15 金融再生法開示債権 ^{*1}	8,317	▲939
16 開示債権比率 ^{*1}	0.79%	▲0.09%
17 その他有価証券評価損益	34,355	▲818

^{*1} 2行合算+信託勘定

^{*2} 政府等向け貸出除き

^{*3} 海外支店+MUAH+クルンシティ+MUFG/バンク(中国)+MUFG/バンク(マレーシア)+MUFG/バンク(ヨーロッパ)

貸出金・預金

【連結】

貸出金残高*1 108.6兆円

(18年3月末比+0.2兆円)

<18年3月末比増減の主要因>

- 住宅ローン ▲0.1兆円
- 国内法人貸出*2 +0.0兆円
(除く為替影響 ▲0.3兆円)
- 政府等向け貸出 ▲0.2兆円
- 海外貸出*3 +0.2兆円
(除く為替影響 +0.5兆円)

*1 銀行勘定+信託勘定 *2 政府等向け貸出を除く、外貨建貸出を含む

*3 海外支店+MUAH+クルンシィ+MUFGバンク(中国)+MUFGバンク(マレーシア)+MUFGバンク(ヨーロッパ)

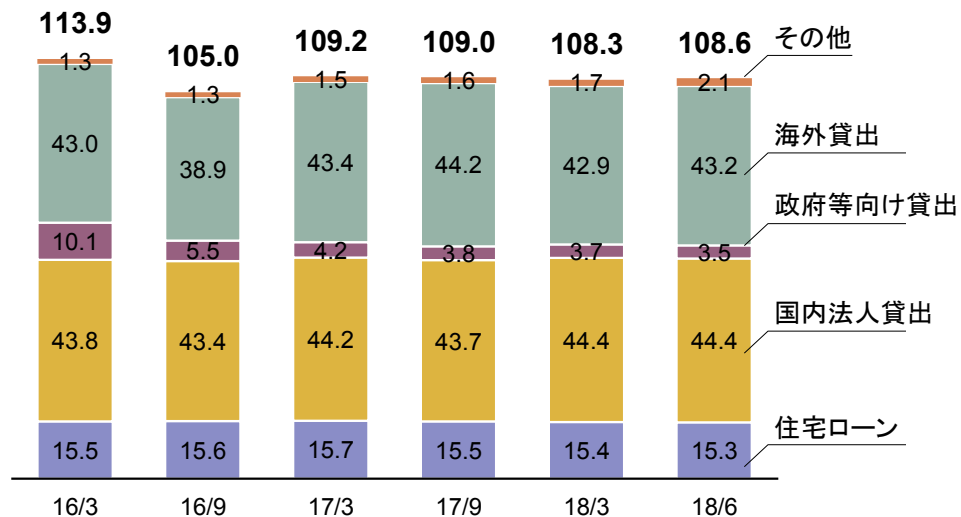
預金残高 175.6兆円

(18年3月末比▲1.6兆円)

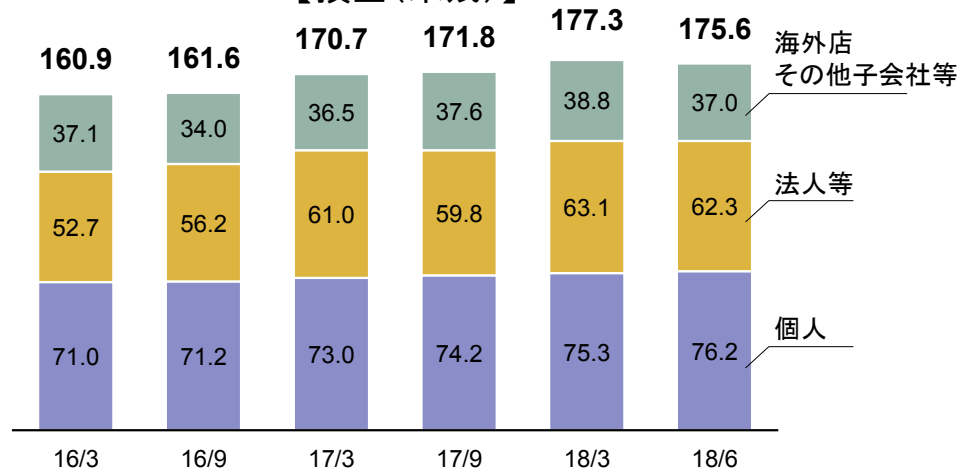
<18年3月末比増減の主要因>

- 個人預金 +0.9兆円
- 法人等預金 ▲0.8兆円
- 海外店その他 ▲1.8兆円
(除く為替影響 ▲1.1兆円)

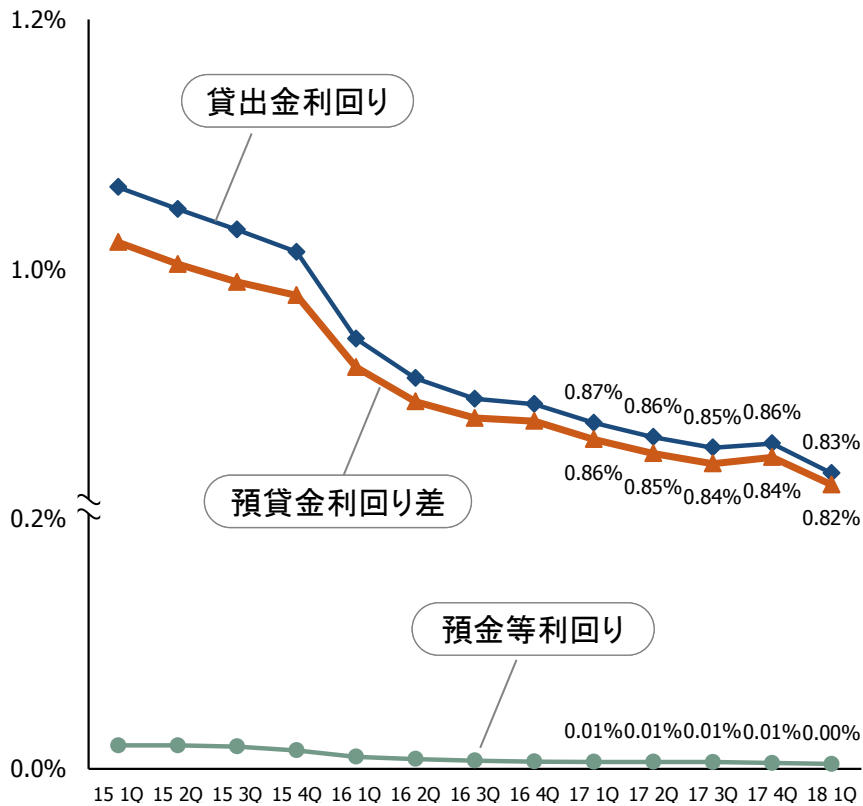
(兆円) 【貸出金(末残)】



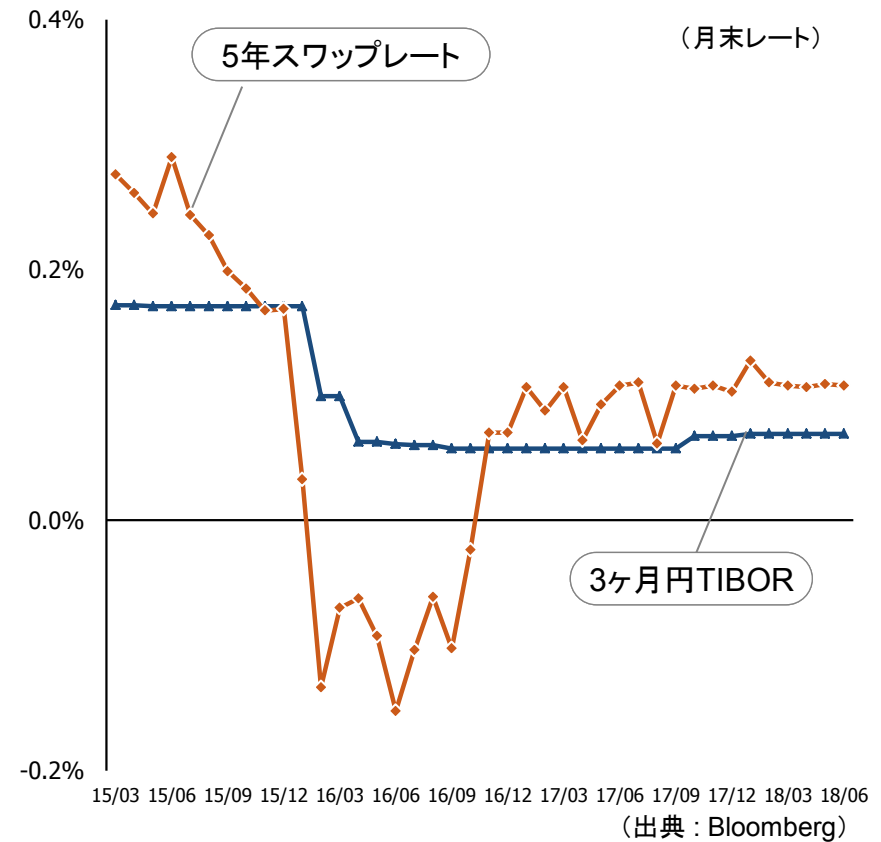
(兆円) 【預金(末残)】



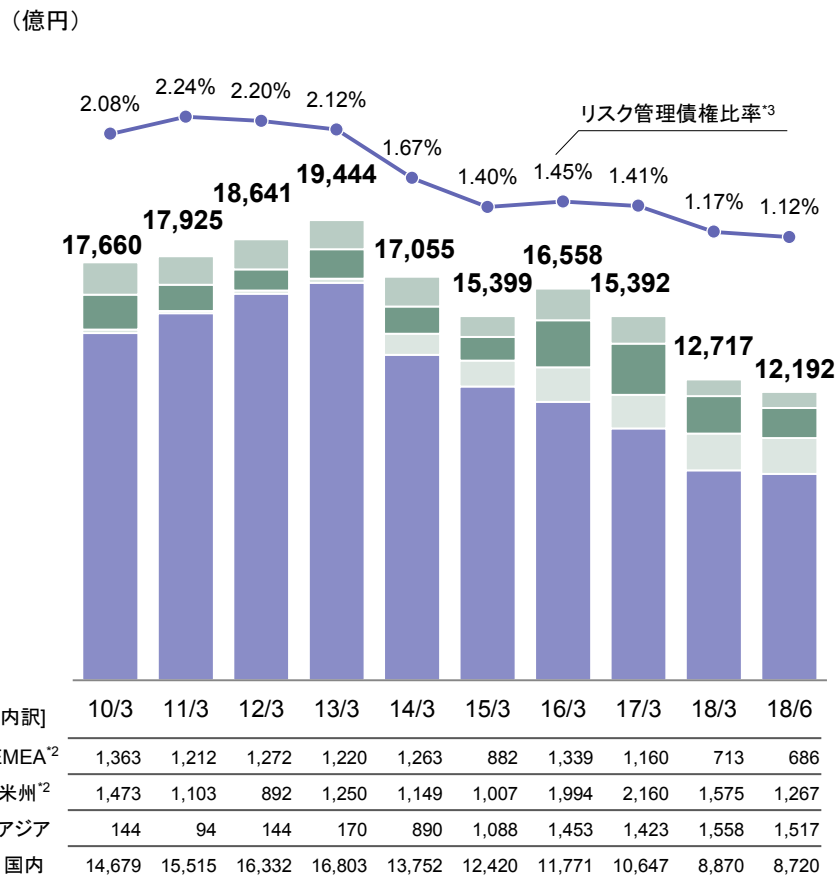
国内預貸金利回りの推移(政府等向け貸出除き)



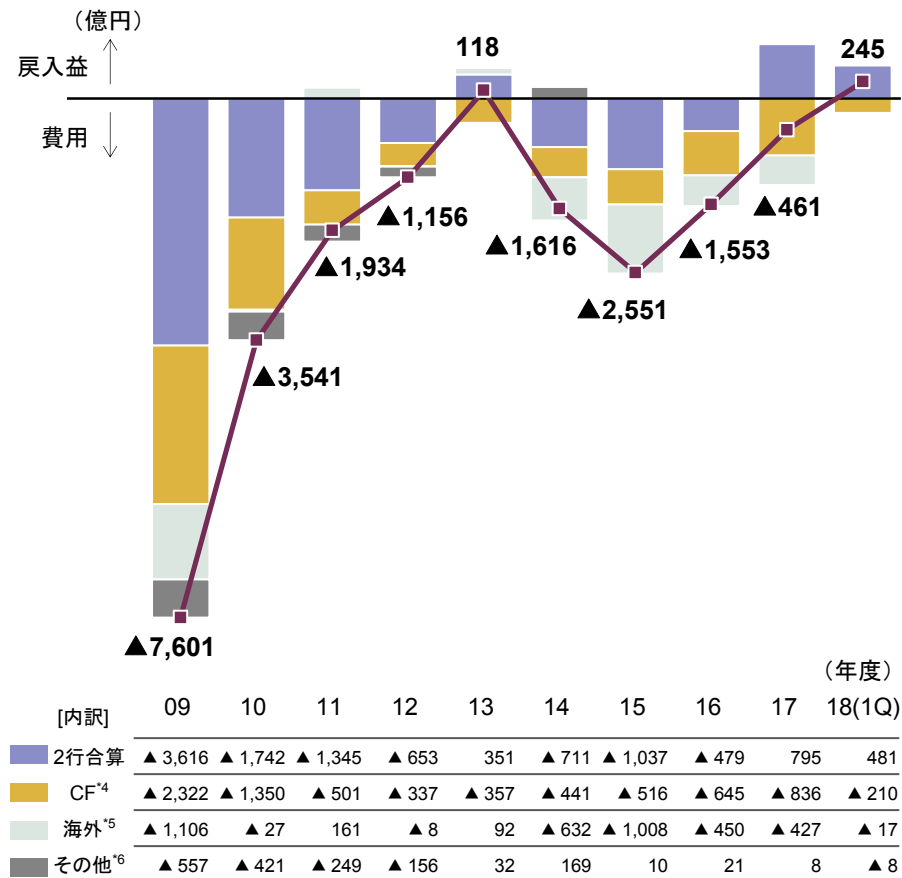
(ご参考)市場金利の推移



リスク管理債権合計*1



与信関係費用総額



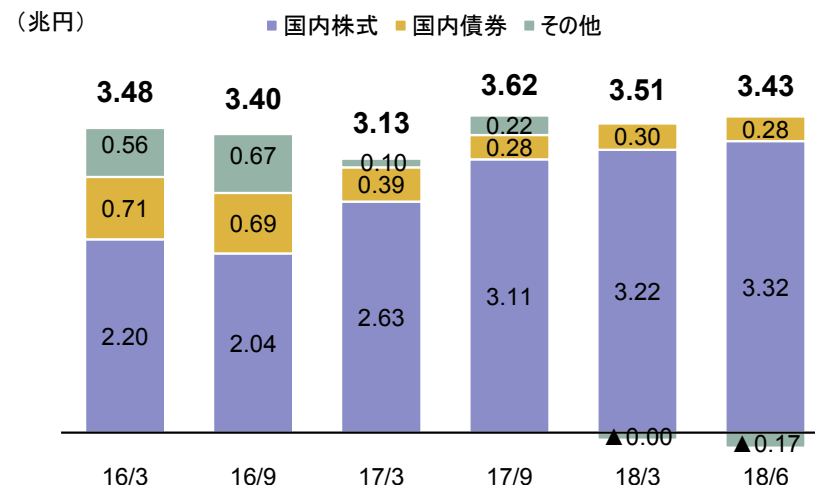
*1 銀行法に基づくリスク管理債権、地域は債務者の所在地による区分
 *2 EMEA(欧州、中近東他)、米州の12/3期以前は、その他、アメリカとして開示した計数を表示
 *3 リスク管理債権合計÷貸出金残高(銀行勘定、未残)

*4 ニコスとアコム連結ベース合算
 *5 銀行および信託銀行の海外連結子会社の合算
 *6 その他子会社および連結調整等

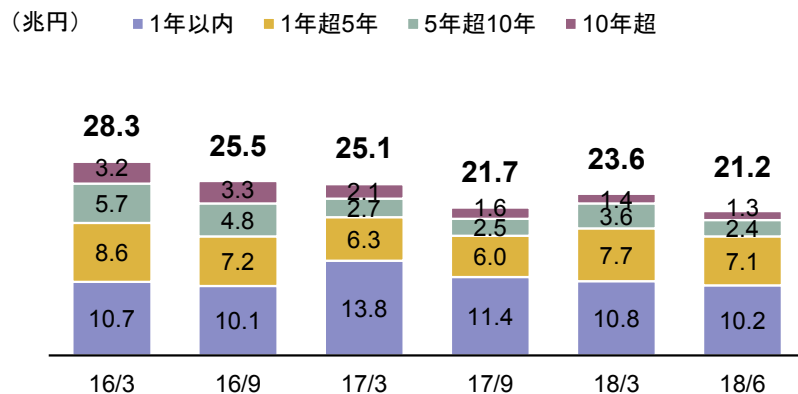
その他有価証券(時価あり)の内訳

	(億円)	18年6月末残高		評価損益	
			18/3末比		18/3末比
1	合計	519,287	▲34,685	34,355	▲818
2	国内株式	56,277	866	33,237	1,035
3	国内債券	248,626	▲21,179	2,862	▲192
4	国債	200,593	▲23,911	2,368	▲221
5	その他	214,384	▲14,372	▲1,744	▲1,661
6	外国株式	2,546	▲798	▲349	▲709
7	外国債券	156,638	▲17,845	▲2,071	▲680
8	その他	55,198	4,271	677	▲270

その他有価証券評価損益の推移

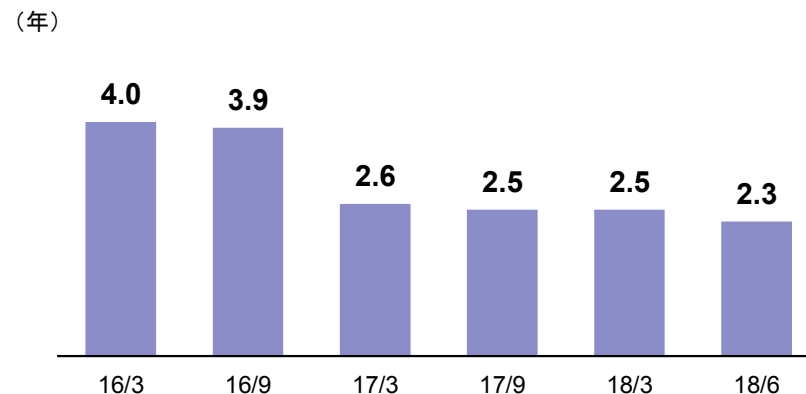


国債の残存期間別残高(2行合算)*1



*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

デュレーション(国債のみ・2行合算)*2



*2 その他有価証券